

今月のことば

仏教を学んで
立派になる
のではない
自らの
愚かさが見えてくる

(小池秀章)

龍谷大学非常勤講師
小池 秀章
こいけ ひであき

中央仏教学院・通信教育課程で学ばれた90歳の方の話です。卒業式の時に、

「私はもうすぐ死んでいくだろうけれど、学ばせてもらえるということは、有難いことですなあ」と言われたそうです。そして続けて、

「仏教を学べば学ぶほど、私の姿が恥ずかしくて、頭が上がるんですわあ」

と言われたということです。この方は、本当の意味で仏教を学ばれた方だと言っていいでしょう。更に別の方が、

「普通の学校は立派になって卒業するけど、中央仏教学院は、愚かになって卒業する」

と言われたそうです。仏教を学んで立派になっていくのではありません。仏教を学べば学ぶほど、自らの愚かさが見えてくるのです。但し、ここでいう「愚か」とは、一般的な「愚か」ではなく、正しいことが見えていない愚かさのことです。

私が京都女子高校で、高校3年生の担任をしていた時、この話を生徒にしていました。

卒業式の時のことです。2人の生徒が私の前に来て姿勢を正し、

「愚かになって卒業しますす!」

と、一礼して去って行きました。とても嬉しい卒業の挨拶でした。

合掌